

飛翔

発行責任者
平塚MAC
今込 祐弘



令和四年度定時総会

今年も書面議決方式で開催

新型コロナウイルスの収束が見えない中、定時総会について、2月の役員会で今年も書面議決方式での開催と決定しました。議案等に関する対応について、会長からの通知とお願いです。

集会方式は未だ困難

今年も何かと節目になる季節がやってきました。

MACも4月21日には定時総会の予定となっております。しかし乍ら、コロナ感染症拡大の影響は蔓延防止等重点措置が解除されても、これで安心と云うわけにはいきません。

不安視する中での大勢が集合する総会、懇親会は無理と役員会に於いて判断し、誠に残念ながら今年度も中止することと成りました。

昨年来同様の「書面議決」方式となります。何卒この状況をご理解いただけます様お願いいたします。

【書面議決の方法】

内容については次の通り
の方法にて、議案書の配布並びに会費等の徴収をお願いいたします。

- 一、総会議案書は書面にてご案内いたします。
- 一、総会議案書は役員等により皆様に配布させていただきます。

一、議案書については、配布後ご確認いただき、役員（事務局）に意見を寄せ願います。尚、回答なき場合は承認されたものとさせていただきます。

一、総会議案書に関する

学 習 会

波力発電について学ぶ

Ⅱ コロナ禍での数回の延期を経てⅡ

コロナ禍で数回延期

昨年来、延び延びになっていた「波力発電」の学習会は、日程調整に苦労したが、市のサポートもあり、2月17日（木）、コロナ感染防止対策を行い、市民活動センターで18名の参加者により開催されました。

平塚で波力発電研究

講師に平塚市産業振興課の堂谷主査をお迎えして、

一、総会議案書配布時に次年度会費（千円）並びに機関紙「飛翔」等の郵送を希望される方は、郵送料（千三百円）を徴収させていただきます。

議案の採決結果については、追って「飛翔」にてご報告させていただきます。皆様には呉れぐれも感染にご注意いただきまして、ご健勝に過ごして下さい。

会長 今込 祐弘

後半は、海に囲まれた日本では洋上風力や波力、潮流等の海洋再生可能エネルギーに注目されている中で平塚に波力発電の研究設備が設置された経緯について説明がありました。

平成28年6月に平塚市と東京大学生産技術研究所が協力して「平塚海洋エネルギー研究会」を発足し、平成30年10月に平塚漁港南防波堤前の海域に出力45キロワットの発電装置を設置、（現在は研究終了のため撤去）、平塚波力発電所実証事業が開始されました。

安定した波エネルギー

波力発電とは、太陽光や風力より安定した波のエネルギーが

波受板を振り子のようになり動かして発電するものですが、今回の実証事業では発電所構造物の海中に建てられた柱のまわ



当面のスケジュール

- 4月14日、28日、5月5日、19日（木）
パソコン勉強会
- 4月11日、18日、5月9日、23日（月）
パークゴルフの会
- 4月1日、8日、15日、22日
5月6日、13日、20日、27日（金）
囲碁を楽しむ会
- 5月27日（金）
アヒルの会
※3月25日の計画が延期となりました

りに多種多様な魚が群がることも分かり、地区の漁業協同組合に注目されているとの説明がありました。また、45キロワットではコンビニ一軒程度を賄う発電量だが、今後は、波の強い外洋で発電能力を向上させ、10年以内の商業化、2050年ころまでには波力発電装置を全国展開し総発電量1メガキロワットを目標に展開していくとのこと。講演後参加者から多くの質問があり、二酸化炭素排出削減の関心が高まった学習会となりました。

学習会 世話人 記

会員往来(退会)

大野耕一さんが3月5日に逝去されました。ご冥福をお祈り致します。